

授業概要

ビジネス学科

科目名	工業簿記・原価計算		
担当教員	石黒 孝子		
実務経験	税理士事務所において、顧客の月次巡回監査・決算業務を経験。法人税・所得税・消費税・相続税の申告補助業務を経験。		
対象学生	経理ビジネス科1年		
曜日・時間	週20コマ 全240コマ 時間数216		
授業形態	演習（50%）と実習（50%）を併用する		
科目の概要	極めて高度な工業簿記・原価計算を修得し、会計基準や会社法、財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を学ぶ。		
授業の到達目標	上場企業の経営管理や経営分析ができるようになる。 日商簿記1級の取得する。		
授業方法・学習上注意	講義（50%）、演習（50%）		
成績評価の方法と基準	期末考査、授業への取り組み姿勢から総合的に判断する。 配点は（期末考査70%、授業への姿勢30%）		
使用テキスト	書籍名	出版社	I S B N
	日商簿記1級工業簿記・原価計算I	TAC出版	9784813273851
	日商簿記1級工業簿記・原価計算Ⅱ	TAC出版	9784813273868
	日商簿記1級工業簿記・原価計算Ⅲ	TAC出版	9784813273875
	合格するための過去問題集 日商簿記1級	TAC出版	9784813277705
教材・参考文献・図書等	書籍名	出版社	I S B N
授業計画（内容）			時間
1	総論		10
2	原価記録と財務諸表		10
3	個別原価計算		10
4	材料費会計		10
5	労務費会計		10
6	経費会計		10
7	製造間接費会計		10
8	原価の部門別計算(I)		10
9	原価の部門別計算(II)		10
10	個別原価計算における仕損		10
11	総合原価計算の基礎		10
12	仕損・減損が生じる場合の計算		10
13	工程別総合原価計算		10
14	組別・等級別総合原価計算		10
15	連産品の原価計算		10

16	標準原価計算の基礎	10
17	標準原価計算における仕損・減損	20
18	原価差異の会計処理	18
19	標準の改訂	20
20	本社工場会計	20
21	考査	2
		合計 240
		授業時数 216